

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020160

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 多面的機能の発揮	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	林道維持管理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	林道の適切な維持管理		#N/A	
事業目標	林道の安全な通行	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し 奥幌内本流線・共立線測量設計委託 ピヤシリ越線他小規模林道整備工事	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し 奥幌内本流線他小規模林道整備工事 共立線・大黒線測量設計委託	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修 共立線・大黒線小規模林道整備工事	
	事業費(千円)	51,640	2,700	3,240	17,000	13,900	14,800
計 画 事 業 費	国庫支出金	0					
	道支出金	16,100			5,000	5,600	
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	35,540	2,700	3,240	12,000	8,300	9,300
実 績 事 業 費	事業費(千円)	38,429	2,594	3,240	18,965	13,630	0
	国庫支出金	0					
	道支出金	9,413			6,100	3,313	
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	29,016	2,594	3,240	12,865	10,317		
関 連 事 項	特定財源の名称 地域づくり総合交付金 (小規模林道整備事業)	【評価・実績】	(実施内容等) 路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	(実施内容等) 路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	(実施内容等) 路肩草刈、排水溝清掃、枝落し 奥幌内本流線・共立線測量設計委託 ピヤシリ越線他小規模林道整備工事	(実施内容等) 路肩草刈、排水溝清掃、枝落し 奥幌内本流線他小規模林道整備工事 共立線・大黒線測量設計委託	(実施内容等)
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	無事故	無事故	無事故	無事故	無事故
		年度達成率	96%	100%	112%	98%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	5%	11%	48%	74%	74%
	備考欄						

事業名	林道維持管理事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	林道の通行者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	無事故	
【抱える課題やニーズは】	林道の路肩に草・灌木が繁茂し、見通しが悪く、また、林道の経年劣化で車両通行上危険な箇所がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全さと快適さの確保	① 事故発生件数	目標年度	平成28年度
			目標値	0件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	通行者の安全確保	②	実績値	0件
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①維持管理の委託	林道通行者の安全確保などを図るため、北隆線ほか林道の路肩草刈や支障となる枝払いを行う委託業務を実施した。		
	②工事の実施	経年劣化等で路盤亀裂や法面崩れのあった、奥幌内本流線と共立線の整備工事を実施した。		
	③測量設計の委託	経年劣化等で路面亀裂や法面崩れのある共立線と大黒線の不良箇所の測量設計を委託した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	林道は林業経営のみならず、レクリエーション・教育・保健休養など様々な形で利用されており、通行者の安全確保と防災上の観点からも林道の維持管理、補修は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	路盤亀裂や法面崩れの補修工事と路肩草刈や支障木整理を行った結果、危険箇所が解消され、林道通行者の安全確保が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	利用頻度の高い路線や危険箇所がある路線を優先的に補修、路肩草刈を2回実施、その他の路線は路肩草刈を1回実施とし、利用頻度を考慮した最小限の維持管理を実施した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

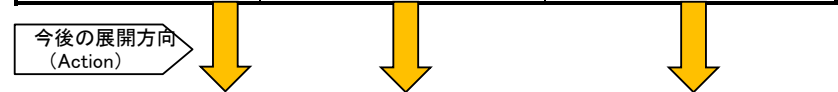
公平	判断の理由	林道は誰でも利用することができる。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
林道通行者の安全確保のみならず、防災上の観点からも林道の維持管理、補修は必要であり、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
森林の維持管理や森林施業のため必要な基盤施設であり、林道交通の安全確保のためにも、維持管理や補修を継続して実施する必要があることから、現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 休止 廃止